

2022年10月19日

前奏

鈴木義兄

賛美歌 367番

木工のわざをば みずから努め 世人の重荷を分かちしイエスよ
ひたいに汗して 日ごとの糧を かちうる我らにちからを賜え

励みておこなう ちさき務めに 思うにまされる平和はひそみ
忍びてつとむる かくれし業に この世をきよむる力は宿る

世人に仕うる 低き務めは み神にささぐるたかき業なり
ナザレの木工よ われらを助け ちからの限りに働かしめよ

聖書拝読 創世記 39章 17-23節

説教 “ヨセフの物語 2” Scroggins 由紀牧師

後奏

鈴木義兄

“地で行われる御心” God’s Will Done on Earth)

“御国がきますように。みこころが天に行われるとおりに、地にもおこなわれますように。” (マタイによる福音書 6章 10節)

主の祈りというのは、クリスチャンが誰でも暗唱している祈りだと負い見ますが、主イエスがマタイによる福音書において、このように祈りなさい、と教えられた箇所から来ています。しかし、口では祈りながら、その意味を考えることはあまりないかもしれません。特に、主の御国を待ち望む心と、神の御心が地で行われることを、本当に祈っているクリスチャンは少ないのではないのでしょうか。それは、私たちがこの世で行われている不正義に、あまりに無頓着に慣れすぎているからです。

神の御心、というと私たちは、手に届かない、計り知れない領域、と考えがちですが、実際は私たちの日々の行いと直結しています。天で行われる神の御心が、私たちの実際の行いと関係ないとすれば、主イエスは、このように祈りなさい、と教えられることはなかったでしょう。

しかし、同時に信仰を持つ私たちには、主イエスが言われた通り、主の御国が必ず来る、という希望があり、その希望があるからこそ、私たちの力で行う正義ではなく、神の正義に身をゆだねることができます。天と地は、祈りによってつながっているのです。私たちが日々、主イエスが教えられた通り、神のみ心が地で行われる祈りを捧げられます様に。

(Yuki Scroggins)

消息

—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

お知らせ

—10月23日の日曜日は、午前10時より2023年度の約束献金を提出する Pledge Sunday の合同礼拝が行われます。どうぞ皆さんご参加ください。

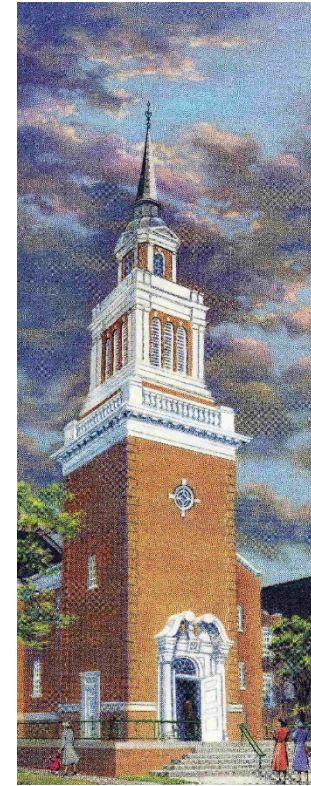
—10月30日の英語部礼拝には、去年天に召された南部勝牧師のお子さんである Jonathan and Thelma Nambu ご夫妻が来られます。

—ウクライナの危機に関して、International Ministries では支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのバプテスト教会へ送られます。

<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hate のサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ (Asian American Advancing Justice) などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。

発行: 2022年10月12日 ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200



週報

第3894号
2022年10月16日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org